

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



第59回全日本合気道演武大会





植芝守央合気道道主による総合演武

第 59 回全日本合気道演武大会

集う喜び溢れる合気道の祭典

3年ぶりの日本武道館開催、全国から4千名が参加



山谷えり子参議院議員・
日本武道館常任理事



植芝守央
合気道道主



多田宏本部師範



植芝充央本部道場長

第59回全日本合気道演武大会（主催Ⅱ合気会）は5月28日、日本武道館で開催された。

新型コロナウイルスの感染拡大や東京五輪開催に伴う日本武道館の増改修工事があったため、日本武道館での開催は3年ぶり。昨年に続いて無観客にした一方、コロナ対策を徹底して一般参加者の演武を認めた。

大会には合気道本部道場師範、指導員、全国から集まった師範や修業者、関係者など4千人が集い、参加への喜びを込めた演武を披露した。

開会式は定刻の正午に始まった。可児晋大会副会長・合気会理事による開会の辞のあと、植芝守央合気道道主が主催者挨拶を行った。

「第59回合気道演武大会が3年ぶりに日本武道館で開催されますことを大変嬉しく思います。昨年同様、今年も規模を縮小して無観客で開催いたしますが、本大会は公益財団法人合気会にとって最大の行事であり、全国の道場長、社会人団体、学生団体の方々が日頃の成果を発揮する大切な場です。コロナウイルス感染症



大会は3年ぶりに
日本武道館で開催された

本部道場指導部師範演武



関昭二師範



遠藤征四郎師範



横田愛明師範



安野正敏師範



菅原繁師範

は未だ収まらない中、今できることを精いっぱい行うという気持ちを寄せていただいていることが本大会の開催に繋がっていると感じます。この演武大会を通じて皆さまと共に開催の喜びを分かち合えることに感謝しております。本日演武される皆さま方は感謝の気持ちを持ち、残念ながら出場が叶わなかった方の思いを胸に一期一会の気持ちを大切に演武していただきたいと思います。さらに一層合気道に精進し、開祖・植芝盛平翁が唱えられた和合の心がさらに満ちるように進んでまいりましょう」

続いて来賓挨拶が行われ、山谷えり子参議院議員・日本武道館常任理

事が「コロナ禍で制約がある中でも『心技体』を精いっぱい求めながら、武道を歩み続ける皆さまのお姿を見ながら、武道が日本の心であり、精神の源であると感じております。日頃の稽古の成果を発揮し、明日からの合気道の精進の道に繋げていただきたいと思います」と述べた。

その後、山田美樹衆議院議員と朝日健太郎参議院議員がそれぞれ挨拶を行い、来賓紹介のあと、演武大会に移った。

演武は2部構成で、第1部は関東学生合気道連盟を皮切りに、各団体・指導者が日頃の稽古の成果を存分に披露。参加者は原則、1団体につき10名までという制限があったものの、各団体の演武終了時には毎回、例年よりも盛大な拍手が送られていた。第1部の最後は植芝充央本部道場長が流れるような自由演武で締めくくった。

第2部の3番目に登場した全国高等学校校連盟の生徒たちは、緊張感を持ちつつも若さ溢れる演武を披露。最後は植芝守央道主が立技、座技から多人数掛けまでの総合演武を披露し、大会は盛会のうちに幕を閉じた。



森智洋師範



難波弘之師範



栗林孝典師範



桂田英路師範



入江嘉信師範



小林幸光師範



鈴木俊雄師範



佐々木貞樹師範



金澤威師範



小山雄二師範



伊藤眞師範



藤巻宏師範



日野皓正師範



櫻井寛幸師範



小林保雄・合気道小林道場総師範



畑山憲吾・合気道研心会師範

各道場師範演武



澤田俊晴・央名合気守道場師範



和田昭・名古屋合気会師範



木村二郎・合気道大阪武育会師範



窪田育弘・奈良合気会師範



菅沼守人・合気道祥平塾道場長



日高浩・岩手県営武道館師範



船越光雄・山形道場師範



吉田智晋・(公財)大阪合気会指導部師範



堀井悦二・相生會師範



岡本洋子・合気道京都師範



石原克博・石芯塾師範

白川勝敏・合気道神武錬成塾塾長



溝口守宏・守清館師範



◎植芝守央合気道道主インタビュー

3年ぶりの日本武道館開催を振り返って



植芝守央合気道道主

ないものでした。

本大会まで、多くの方々が新型コロナウイルスの影響で大変な状況だったと思います。しかし、全国の会員の方々が合気道に対して思いを寄せて、しっかりと歩んでくださったこと、また、合気道に対して理解を示してくださる方たちのご理解もあって改めて本大会が実施できたのだと思います。

—— 昨年は群馬県・高崎アリーナで本部道場の指導者と各道場の責任者のみが参加して実施されました。昨年と本年の大会を比べて違いはあるのでしょうか。

「昨年はコロナ禍の真ただ中でしたので、日頃合気道を指導している師範・道場長の演武ということに次師範・道場長として開催に至ることができ、良かったと思います。しかし、本来の全日本合気道演武大会は稽古

を長年積んだ方も稽古を始めて日の浅い方も含めて参加してありました。その中で、それぞれが置かれた立場でそれぞれの稽古をどのように行っていくか、自分を見つめていくに律していくか、ということが合気道の良さであります。昨年の形態にはその良さがありませんでしたが、今回のように全国の稽古の方々が集まった大会ができたことは、本来の合気道のあり方を示すことができたようにも思います」

—— 来年、大会は60回という節目を迎えます。今後の合気会はどのように歩んでいくのでしょうか。

「第1回大会は昭和35年に開催されました。これには、吉祥丸^{きしやうまる}二代道主が戦後、合気道の門戸を開き、一般の方に合気道を理解してもらうために公開演武を行うようになったことがきっかけとなっております。そこから来年で60回を迎えるということは、それだけ先達の方々が積み重ねてきたものがあるわけです。その思いを強く受け止めて次の段階に繋がっていききたいと思っています」

また、本日は7カ国の駐日大使並びに7カ国の大使館関係者の来賓の方々がいっぱいいました。それだけ海外の方々が合気道に興味を持ってくださっているということを実感いたしました。本大会を通じて海外への合気道の普及・発展にも引き続き寄与していきたいと考えております。

今は、大会が終わって一段落しておりますが、これから次々と大会や行事がありますので、どんどん前へ進んでいきたいと思えます」

—— 月刊「武道」に連載されていた「合気道 その歴史と技法」が3月に単行本として発行されました。

「この書は歴代の道主が書いてきた書籍などの内容を現代の言葉で分かりやすくまとめている。合気道の歴史や技法の大枠が載っているの、合気道を知っている方はもちろんですが、合気道を知らない方にも本書を手にとっていただきたいと思います」

◎参加者インタビュー

参加者を代表して合気道修練道場自然館長の吾妻正義館長、指導者演武の最年少出場で合気道祥平塾（福岡県）の山田康平さん、会場警備のボランティアも担当した林祐貴子さんに話を伺った。

▼吾妻正義館長



「今回は待ちに待った大会となりました。植芝道主の『合気道 その歴史と技法』を拝読し、継続していくことの難しさを実感していたので、今回、再び参加者が集い大会を開催できたことを嬉しく思います。私にとって日本武道館は父と一緒に演武を行った思い出の場所でもあり、今回もそのことを思い出しながら演武を行いました。以前の参加者数には戻っていないので、来年はもっと多くの人が参加できるように願っています」

▼山田康平さん



「昨年は当塾の菅沼道場長の受け身として出場しましたが、今回のよう

に全国から参加者を集めて本大会を開催してもらえたことが非常に嬉しく思います。コロナ禍で合気道界が大変だったと思いますが、今回の開催によって、全国的に合気道が再び盛り上がる動きに繋がってほしいと思います。菅沼道場長から言われている『合気道は実践の武道である』という教えを胸に今後も強さだけではない合気道という道を深め、人間性を高めていきたいと思っています」

▼林祐貴子さん



「私にとって日本武道館は憧れの地です。演武をして、自分なりに日ごろの稽古の成果を出せたと感じるとともに、大会の中で平常心を保つことの難しさも実感しました。稽古不足も痛感しました。今後稽古を頑張ろうという、一つの決意を与えてもらいました。私の亡き祖父は剣道の高段者で80歳を過ぎても道場に熱心に通い、稽古や指導を続けていました。私も祖父を見習い、生涯を通じて稽古を続けたいと思います。日々、自分なりの武道の道を探求しながら精進します」

日本武道館の単行本

剣道の文化誌 明治大学教員 長尾 進 著

四六判・上製・480項・定価2,640円

本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いつながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひ一読を。

剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保本輝雄 著

四六判・上製・516項・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。

合気道 その歴史と技法 合気道道主 植芝守央 著

四六判・上製・362項・定価2,640円

世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体で愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。

空手道 その歴史と技法 小山正辰・和田光二・嘉手苅徹 著

四六判・上製・548項・定価2,640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苅徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苅氏が発出した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一作。

マンガ・日本武道風土記 漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著

B5判・248項・定価1,100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐるみては。

死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著

四六判・上製・342頁・定価2,640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記した弓道伝記かつエッセイ

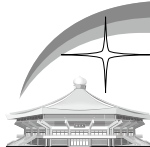
学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著

四六判・上製・354項・定価2,640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

ご注文・お問い合わせ

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>





～仲間と共に参加できる喜びをのせて～



大会には海外の駐日大使や
大使館関係者が来賓として訪れた



会場の感染対策も徹底された

【演武者一覧】

■第1部

1 学生連盟演武 関東学生合気道連盟

2 指導部師範演武 桂田英路、難波弘之、伊藤眞、佐々木貞樹

3 指導部師範演武 入江嘉信、森智洋、櫻井寛幸

4 道場演武 明清会等々力道場、東大和合気道会、合気道小金井同好会、合気道自由が丘道場、合気道練馬総合体育館道場

5 道場演武 合気道修練道場自然館、新小岩合気会、合気道土井道場、合気道麻布道場、東村山市合気道会・日高市合気道同好会

6 道場演武 荒川合気会、大宮合気道倶楽部、合気道明心会、仲池合気道同好会、合気道清進塾

7 道場演武 合気道大宮道場、荻窪合気道同好会、葛飾合気会、町田合気会、千葉合気道友会、

8 道場演武 千葉合気道館、合気道清明塾、合気道正心会、船橋合気道道友会、深谷合気会

9 道場演武 合気道蒸合気塾、合気道相模和道会、城東誠和会、合気道鹿沼教室、絆・勝橋和合塾道場

10 学生演武 学生連盟外I、II

11 道場演武 我孫子合気会、武蔵小杉合気道会、合気道瀧田塾、幸優合気会、守清館

12 道場演武 新所沢合気道同好会、尾山台地域体育館合気道教室、新郷合気会、鶴岡八幡宮研修道場合気道科、合気道弘龍會明心館道場

13 道場演武 大田区合気道会、ひたちなか合気会、合気道幸徳会、横浜南合気会、合気道青葉塾道場

14 道場演武 合気道月窓寺道場、合気道麻生同心会、央合気会守道場、大和合気道クラブ、旭合気道クラブ

15 道場演武 尾張合気会、合気道吹上道場、名古屋合気会、岡崎合気道皇道館道場、合気道田原悠会

16 指導者演武 山田康平(福岡)、福田大悟(栃木)、貴志公彦(和歌山)、前田功(山形)、山口輝(青森)

17 指導者演武 高井良充(神奈川)、梅井工(京都)、八木史人(静岡)、立合健一(新潟)

18 指導者演武 堀越祐嗣(東京)、鈴木雄大(茨城)、白川竜次(宮城)、森本忠則(岡山)

19 指導者演武 合気道研究会インターナショナル、葉山町合気会、桜台合気道クラブ、合気道春水道場、凱風館

20 指導者演武 合気道大阪体育会、奈良合気会、大阪合気塾、和氣合、野田合気会

21 指導者演武 合気道研心会、合気道京都、合気道桶川愛氣会、和合館合気道修練道場、鷹の台合気道同好会

22 指導者演武 柏合気会、藤沢合気道倶楽部、郡山合気会、綾瀬市・海老名市合気会、相模合気道連盟

23 指導者演武 合気道石志塾グループ、合気道石田塾、目黒区合気道連盟、佐倉合気会、文京区合気会

24 指導者演武 相生會、合気道野比道場、合気道宇由の会、流山合気会、西川口合気道クラブ

25 指導者演武 合気道新川塾、合気道神武錬成塾、大成合気道会、合気道唯心館杉野道場、船橋市合気道連盟

26 指導者演武 合気道五十嵐道場、千住合気会、合気道木下道場、杉並合気会、武産浦帆道場

27 社会人団体演武 朝日合気会、国際協力機構合気道部、IHI合気会、城南合気会、松戸市役所合気道部

28 社会人団体演武 N T T 東日本東京合気道部、富士通合気道部、三井住友銀行合気道部、富士通沼津工場合気道部、合気道正隆会

29 社会人団体演武 品川区合気道交友会、宏心会、稲門合気道倶楽部、志念会、合気道臥龍会道場

30 連盟演武 茨城県合気道連盟I、II、III、IV

31 連盟演武 合気道兵庫県連盟、北海道合気道連盟、新潟県合気道連盟、和歌山県合気道連盟

32 連盟演武 愛知県合気道連盟、神奈川合気道連盟、大阪府合気道連盟、岡山県合気道連盟

33 連盟演武 東京都合気道連盟、静岡県合気道連盟、埼玉県合気道連盟

34 連盟演武 東北合気道連盟(宮城県、福島県、岩手県、山形県)

35 茨城支部道場指導部師範演武 大和田幸正、磯山俊博、水島義道、平澤憲次、秋本英裕

36 防衛省合気道連合演武(稽古法) 防衛省合気道連合会

37 合気道学校演武 上級課程、中級課程、初級課程

38 指導部師範演武(基本技抑え) 鈴木俊雄、小山雄一、日野昭正

39 指導部指導員演武(基本技授け) 梅津翔、里館潤、松村光、桑原將太

40 指導部師範演武 栗林孝典、金澤威、藤巻宏

41 指導部師範演武 小林幸光、菅原繁

42 自由演武 本部道場長・植芝充央

■第2部

1 学生連盟演武 関西学生合気道連盟、中部学生合気道連盟、中・四国学生合気道連盟

2 学生連盟演武 全九州学生合気道連合会、北海道学生合気道連盟、東北学生合気道連盟

3 高等学校連盟演武 全国高等学校連盟

4 文化センター・道場演武 日本武道館武道学園合気道銀座正会、ロンドスクールマックス成増

5 文化センター演武 よみうりカルチャー(恵比須、大森、川崎、錦糸町、自由が丘、北千住、八王子)、無為会

6 文化センター・社会人団体演武 NHK合気道部、三ツ境カルチャーセンター、スポーツクラブエンターテイメントA-1町田、合気道石志塾麹町合気会、えきスポうめじま、大泉合気道同好会、華渚会

7 指導者演武 竹中裕香(奈良)、高澤明(千葉)、林豊(埼玉)、園部直行(愛知)、梶野貴弘(香川)

8 指導者演武 中川勇二(大阪)、小林太郎(群馬)、菅原彰宏(兵庫、三宅保則(長野)

9 道場演武 新宿スポーツセンター合気道教室、北総合気会、入間幸武館道場、合気道川越道場、川口芝合気会

10 道場演武 大塚道場明道館、祖師合気会、平塚合気会、春陽会、江東区合気会

11 道場演武 明清会グループ、佐久合気道会、神戸せいぶ館、習練館道場、白光合気道会船橋道場

12 道場演武 合気道小田道場、中央区合気会、新宿合気会、千代田区合気会、港区合気道連盟

13 道場演武 合気道桜道場、中央区合気会、新宿合気会、千代田区合気会、港区合気道連盟

14 道場演武 江戸川区合気道連盟、北区合気道会、中野区合気道会、八千代市合気道連盟、板橋区合気会

15 社会人団体演武 三菱合気道部、日経合気道クラブ、東京税理士会麻布支部合気道部、理双会、公認会計士合気道同好会

16 社会人団体演武 東芝合気道部、明治大学教職員合気道倶楽部、合気道新日本中央会、川崎市役

所合気道部、シビル合気道部

17 道場演武 小牧合気会、王禪寺合気道場、合気道入江道場、江戸崎合気会、合気道れいめい会

18 道場演武 青山会、つくば牛久合気道友会、池袋合気道同好会、合気道吉勝会、小山合気会

19 道場演武 日本歯科大学教職員合気道部、蔵合気道会、西新宿合気会、合気道自灯館道場、横浜国際合気道会

20 道場演武 茨城支部道場、合気道祥平塾、合気道熊野塾、京都合気会、志剛会

21 道場演武 合気道堀越道場、沼津合気会、京都近江合気会、東京合気道秀和会、合気道和光道場

22 道場演武 NPO法人相模原市合気道連盟、合気道里見八朗会、合気道黎明道場志木合気会、(公財) 大阪合気会、浜風合気会

23 道場演武 合気道奥州道場、調布合気道会、合気道研修館、合気道ふれあい塾、流山合気道同好会

24 道場演武 合気道明倫塾、合気道「倫」、合気道青楓会、富士見合気道友会、つくば合気道会

25 本部道場一般演武(稽古法) 本部道場一般I、II、III、IV、V

26 師範演武 相生會師範・堀井悦二、合気道京都師範・岡本洋子、守清館師範・溝口守宏

27 師範演武(公財) 大阪合気会指導部師範・吉田智晋、央合気会守道場師範・澤田俊晴、石志塾師範、石原克博

28 師範演武 岩手県宮武道館師範・日高浩、山形道場師範・船越光雄、合気道神武錬成塾塾長・白川勝敏

29 自由演武 合気道大阪体育会師範・木村二郎、合気道研心会師範・畑山恵吾

30 自由演武 名古屋合気会師範・和田昭、奈良合気会師範・窪田育弘

31 自由演武 本部道場指導部師範・横田愛明

32 自由演武 本部道場指導部師範・安野正敏、本部道場指導部師範・関昭二

33 自由演武(欠場)

34 自由演武 本部道場指導部師範・遠藤征四郎、合気道祥平塾道場長・菅沼守人

35 自由演武 合気道小林道場師範・小林保雄

36 自由演武 本部師範・多田宏

○総合演武 合気道道主・植芝守央

日本武道協議会設立 45 周年記念式典

決意新たに 武道界の発展誓う

日本武道協議会設立45周年記念式典が5月20日、ホテルグランドアーク半蔵門（東京都千代田区）で来賓、役員、関係者など、約100名が集まって開催された。

本協議会は昭和52年、加盟する武道10団体の連絡・融和を図り、武道を奨励してその精神を高揚し、健全な国民の育成に努めることを目的に発足し、4月23日で設立45周年を迎えた。

式典は江渡聡徳日本武道協議会・日本武道館常任理事の開会宣言で幕を開けた。初めに高村正彦日本武道協議会・日本武道館会長が挨拶に立ち、続いて串田俊巳スポーツ庁次長が来賓祝辞を述べた。その後、臼井日出男日本武道協議会・日本武道館理事長による乾杯の発声で祝杯をあげた。

歓談後、吉川英夫日本武道協議会常任理事・日本武道館理事事務局長から日本武道協議会設立45周年事業『少年少女武道指導書』の刊行に向けた取り組みについての報告があり、続いて各道実行委員による挨拶、日本武道館プロジェクトメンバーの紹介があった。最後に山谷えり子日本武道協議会・日本武道館常任理事が閉会宣言を行い、式典は滞りなく終了した。



◎江渡 聡徳

日本武道協議会・日本武道館 常任理事

本協議会は、武道9団体と日本武道館によって昭和52年4月に設立され、以来、10団体で一致協力し、国内外に広く、我が国伝統の武道の普及・振興に努めてまいりました。これまで多くの先達の皆さまがご尽力されて45周年を迎えられたことは誠にめでたく、心よりお祝い申し上げます。

長年の努力が実った中学校武道必修化が始まってから早いもので10年が経ちます。その間、各団体が協力し、複数の武道種目が教育現場で実施されるようになったことは大きな意味があると思います。今後さらに広まり、日本中の子どもたちが複数の武道を経験できればと思っています。また、世界の人々が日本武道の有り様、武道精神の有り様を理解し、経験できるような環境作りを進めていきたいと思っています。



◎高村 正彦

日本武道協議会・日本武道館 会長

本協議会は今から45年前、日本武道館と武道9団体が大同団結し、我が国武道界の中央連絡協議の組織として設立されました。以来、加盟10団体において連絡・協調・親和を図り、武道の普及・振興のために活動してまいりました。

現在、平成24年度の中学校武道必修化から10年が経ち、令和3年度から全面实施された新学習指導要領には武道9種目すべてが明記され、どの種目も授業で採用されやすくなり、喜ばしい限りであります。

今後も本協議会は、日本の未来を担う子どもたちが武道を通して立派に育つよう、取り組んでまいります。

皆さまには、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、武道界のさらなる発展を祈念し、ご挨拶といたします。



◎山谷 えり子

日本武道協議会・日本武道館 常任理事



武道は日本国民精神の源です。国際情勢が厳しい時代ではありますが、礼節を重んじ、相手を尊重し、謙虚に道を求めて歩き続ける武道が日本の未来を切り拓き、子どもたちの幸福につながると信じております。今後も武道9種目のますますの発展のため、皆で力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

◎臼井 日出男

日本武道協議会・日本武道館 理事長



日本武道協議会設立45周年、誠にありがとうございます。コロナ禍ではありますが、こうして祝宴を開催できたこと、大変喜ばしく思います。本日お集まりいただきました皆さまと心をついにし、日本武道協議会のますますの発展を祈念したいと思います。

来賓祝辞

◎串田 俊巳

スポーツ庁 次長

武道は技と心を、その時代の人々が大切に育んできた文化であり、日本人の人格形成に大きな役割を果たしているものであると思います。日本武道協議会は加盟10団体の協力のもと、我が国の武道の普及・奨励のために尽力されてきました。

近年は新型コロナウイルス感染症流行のため、日頃の鍛錬や大会開催にさまざまな制約があるなか、試行錯誤・創意工夫を凝らしながら、事業を実施していることに敬意を表したいと思います。

本年は全日本少年少女少武道錬成大会の3年ぶりの開催を計画していると聞いておりますが、大会が盛会となり、武道のますますの発展に繋がることを祈念申し上げます。

礼法を重んじる武道に親しむことは、自らを律し、相手を尊重する態度を養うなど、より平和的な人間形成に資すると思います。今後を担う青少年の健全な育成を目指し、平和への願いを込めて武道の振興にご尽力いただいている皆さまに敬意を表するとともに、ますますのご発展を祈念し、お祝いの挨拶といたします。



日本武道協議会 設立45周年記念式典

少年少女の健全育成 生涯武道 国際的普及

高齡化が続いていきますが、武道は人間教育であるということ、世界平和に貢献できるということを今まで以上にアピールしていきたいと思っています」

◎浅野有三 全日本弓道連盟副会長
「日本武道協議会が設立されて各武道団体の協力体制が整い、その成果として中学校武道必修化が実現できました。まだまだ新型コロナウイルスが流行していますが、コロナを乗り越え、元の活動ができるよう頑張っていきたいと思っています」

◎南和文 日本相撲連盟会長
「今後も加盟団体の皆さまと協力して武道を世の中の役に立つものにしていきたいと考えています。日本武道協議会設立45周年記念事業で『少年少女武道指導書』を作成しますが、武道で子どもをしっかりと育てることが大切です。我々もそれに向け、事業を展開していきたいと思えます。また、少子化に伴い武道人口が減ってきていますので、武道を魅力あるものに発展させていくことも重要です。相撲は男のものという概念をなくし、男女ともにできるということを普及していきたい」

◎栗原茂夫 全日本空手道連盟副会長
「発足して45年間、日本武道協議会が現在まで発展しながら活動できたことは素晴らしいことです。少年少女が武道を通じて素晴らしい青年に育つよう、また武道があらゆる社会で役に立つことを願うと同時に、その一端を担うことができれば幸いです。空手道は東京五輪で成功を収めました。次のパリ五輪では残念ながら競技種目から外れました。しかし、五輪はずっと続きますので、今後も引き続き頑張っていきたい」

◎植芝守央 合気会理事長
「各武道団体が一つになって協力し、日本の伝統文化である武道の普及・振興に努めてこられたことは素晴らしいことです。次の時代へ良い形でつなぎ、武道が国内外で普及・発展するよう推進していかなければならないと思っています。また、『少年少女武道指導書』の刊行、そして運用に向け、努力していきたい」

◎川島一浩 少林寺拳法連盟会長
「日本武道協議会が45周年、少林寺拳法連盟が75周年ということで、縁があると感じています。時代が変化していく中で日本武道協議会の事業



も変わっていくと思います。少林寺拳法連盟としても今後とも各団体と協力して取り組んでいきたいと考えています」

◎吉井美恵子 全日本なぎなた連盟専務理事
「日本武道協議会が武道団体をまとめ上げ、各団体が親密に情報交換などをすることができ、感謝しています。昨年は東京五輪で柔道と空手道を世界に発信できたので、今後、さまざまな武道を世界に発信できる体制ができればと願っています」

◎市野保己 全日本銃剣道連盟副会長
「このような形で武道が発展してこられたのは日本武道協議会があったからこそです。45周年が無事に迎えられることをお慶び申し上げます。50周年に向けてさらに発展できるよう、加盟団体が互いに力を合わせ、活動していきたい」

加盟団体代表者がメッセージ

◎山下泰裕 全日本柔道連盟会長
「武道を通して心身ともに健全な子どもたちを育てていくこと、そして日本の心を伝えていくことが大事です。現在、少子化が進んでいます。子どもたちから見て魅力的な武道にしていかなければなりません」



浅野有三
全日本弓道連盟副会長



網代忠宏
全日本剣道連盟会長



山下泰裕
全日本柔道連盟会長

その一方、生涯武道としての視点も大事にしながら活動していきます。また、海外の方々に日本を正しく理解していただくために武道の果たす役割は大きいと考えていますので、今後も各連盟と連携しながら活動していきたいと思っています」



植芝守央
合気会理事長



栗原茂夫
全日本空手道連盟副会長



南 和文
日本相撲連盟会長

◎網代忠宏 全日本剣道連盟会長
「過去をしつかり検証した上で皆で力を合わせて今後の武道振興を進めていきたいと思っています。将来は小学校の体育授業に武道が取り入れられるよう、日本武道協議会が中心となって働きかけていきたい。少子



市野保己
全日本銃剣道連盟副会長



吉井美恵子
全日本なぎなた連盟専務理事



川島一浩
少林寺拳法連盟会長

『少年少女武道指導書』刊行に向けた取り組みについて



『少年少女武道指導書』各道実行委員

設立45周年記念事業の一環として『少年少女武道指導書』を令和4年4月に刊行・配布するため、平成31年4月から準備に取りかかりました。

刊行の背景には少年少女武道人口の減少という大きな課題があります。そこで、本指導書は「安全で、楽しく、充実した武道指導」をキャッチフレーズに掲げ、「武道で子どもたちを立派に育てること」「少年少女武道を活性化し、

武道人口の増加を図ること」「将来の小学校高学年への武道授業導入の布石とすること」の三つを狙いとしています。勝ち負けではなく、育成に重点を置いた指導書とすること、武道経験のない先生にも使えることなどを共通の方針とし、各道実行委員の先生方を中心に準備作業を進めていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく作業を休止せ

ざるを得ない状況が続いていましたが、本協議会設立45周年を機に、あらためて本事業をスタートいたします。

日本の未来は、子どもたちの双肩にかかっています。武道で子どもたちが立派に育つようお願い、加盟団体が互いに知恵を絞り、具体策を考え、事業を実行してまいります。

◎吉川英夫 日本武道協議会常任理事・日本武道館理事事務局長



日本武道協議会設立40周年記念『中学校武道必修化指導書』



東京五輪開会式直前に行われた文部科学大臣主催歓迎行事。
写真右上は同行事での相撲演武（令和3年7月23日）

令和4年 (2022)	5月20日	日本武道協議会設立45周年記念式典・祝賀会をホテルグランドアーク半蔵門で開催。
令和3年 (2021)	7月23日	東京五輪開会式直前の文部科学大臣主催歓迎行事で7種目（五輪種目の柔道、空手道以外）の演武を披露。
令和元年 (2019)	8月25日 9月1日 9月6日 8日	2019世界柔道選手権東京大会で日本武道協議会が主体となり、柔道以外の武道8種目が演武を披露。 空手1プレミアリーグ2019東京大会で合気道となぎなたが演武を披露。
平成29年 (2017)	5月18日	日本武道協議会設立40周年記念式典・祝賀会を開催。『中学校武道必修化指導書（DVD付）』を刊行し、全国1万余校の中学校、教育委員会などへ無償配布。
平成26年 (2014)	2月1日	「武道の定義」を制定し、文部科学省に提出。「武道」の英語表記を「BUDO」に統一。
平成22年 (2010)	6月24日 26日	中学校武道必修化に対応した第1回全国中学校（教科）柔道指導者研修会を開催。（以降、武道全9種目を実施）



日本武道協議会発会式典（昭和52年4月23日）



塩川正十郎日本武道協議会・日本武道館会長
が安倍晋三内閣総理大臣に請願書を手渡す
（平成19年2月27日）



武道振興大会で祝辞を述べる
小泉純一郎内閣総理大臣
（平成14年3月13日）



大表札を掲げる松前重義初代会長
（昭和52年4月23日）

昭和52年 (1977)	4月23日	日本武道協議会発足、日本武道館で発会式。初代会長に松前重義日本武道館第4代会長が就任。
昭和54年 (1979)	1月30日	国会議員武道議員連盟、日本武道館との3者共催で第1回武道振興懇談会を開催。
昭和56年 (1981)	2月18日	武道議員連盟、日本武道館との3者共催で第1回武道振興大会を開催。「武道を学校の必修正課に」との大会決議を採択し、文部大臣に提出。
昭和57年 (1982)	1月15日	「武道功労者」「武道優良団体」の表彰を開始。
昭和62年 (1987)	4月23日	日本武道協議会設立10周年記念式典を挙行。「武道憲章」制定を発表。
平成14年 (2002)	3月13日	武道振興大会に小泉純一郎内閣総理大臣が現職の総理大臣として初めて出席。
平成16年 (2004)	9月16日 10月2日	「こども武道憲章」を制定。 武道功労者顕彰プレートが完成し、除幕式を挙行。
平成19年 (2007)	4月27日	塩川正十郎日本武道協議会会長が安倍晋三内閣総理大臣に「武道を必修正課に」と請願書を提出。 日本武道協議会設立30周年記念式典・祝賀会を開催。「日本の武道」を刊行し、全国に約2万部を無償配布。
平成20年 (2008)	10月10日	武道9種目を並列明記した「武道の理念」を制定し、文部科学省に提出。
平成21年 (2009)	10月15日 11月28日 30日	中学校武道必修化に向けた初の中学校武道授業（弓道）指導法研究事業を実施。（以降、武道全9種目を実施） 「中学校武道必修化各道共通指導内容」を承認、文部科学省に提出。

日本武道協議会 45年の足跡